

REMAPの枠組みに沿った 重症患者さんとの話し方

プライマリ・ケアレクチャーシリーズ(PCLS)
2025年9月25日

大西恵理子/橋本忠幸

学習目標

1. 患者やその家族と話し合う時に個人を中心とした(person-centered)話し方の技術を使うことによって話の質や効率上がることを認識する。
2. 治療方針の決定について話し合う時にREMAPの枠組みに沿って行う。(今回はREのみの学習)
3. SPIKES/NURSEに沿ったコミュニケーションの基本的スキルに習熟する。

こんな風に感じたことは ありませんか？

深刻なおはなしを患者・家族に話す
医師にとって、大変荷が重い・・・



『こんな話, しないといけないなんて嫌だな、辛いな・・・』
『なんて言ったらいいんだろう・・・』
『どうして何回言ってもわからないのかな・・・』



希望と現実
喜びと悲しみ
信条と疑念

これらのバランスを
とりながら
患者さん、家族と
どう語り合い
えば良いのか？

重症患者さん・家族と話すことの大切さ

多数の患者さんはどんな悪いニュースであれ事実と正直な医療者の意見を聞きたいと思っている。

9割以上の患者さんが重篤な病気になった時自分にとって何が大切かについて話したいと思っている。



The Kaiser Family Foundation



医療者が個人を中心とした(person-centered)話し方の技術を獲得したら……



治療方針の決定に関する話を早く始めるようになる。



燃え尽き症候群になる可能性が少なくなる。



自分の仕事にやり甲斐と満足度を覚える。



コミュニケーションの技術は学習して
習得できる専門技術

Visit Us @ [KanwaTalk.jp](https://www.kanwa-talk.jp)



REMAP

治療ゴール決定のための
ロードマップ
(LATE Goals of Care)

REMAP



REFRAME the situation 状況の変化を伝える
EXPECT EMOTION NURSE 感情に対応
MAP out important values 重要な価値観を掘り下げる
ALIGN with the patient & family 価値観に基づいた
治療ゴールの設定
PLAN treatments to uphold values 具体的な治療計画



SPIKES

A talking map for
serious news

SPIKES



悪い知らせを話し合う時のロードマップ:

Setup 会話に備える(情報、人、場所)

Perception 患者の理解を把握する

Invitation 本題に入る前に患者の許可を得る

Knowledge 簡単にわかりやすく伝える

Emotion 患者の感情に対応する

Summarize 話し合った内容や今後の方針をまとめる



2: Perception



患者の理解を把握する

「あなたの病気について、今まで他の医師からどのようなことを聞きましたか？」

「お母さんの具合はどう見えますか？」

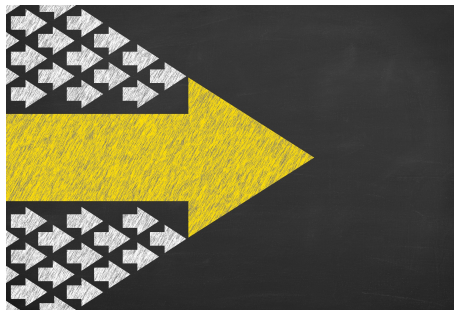


3: Invitation

本題に入る前に患者さんの許可を得る

「これから前回の検査の結果をお話してもよろしいですか？」

- 話し合いの流れを作る権限を患者側に与える
- 患者の歩調に合わせて話を進めていくことを伝えることが出来る



4: Knowledge

簡単にわかりやすく伝える

一番重要なことを、患者のわかりやすい言葉を使って短く簡潔に話す。(Headline)



Headline

簡単にわかりやすく伝える

事実 + 意味

何が起きた、起きているのか

そしてその意味することは



短く、わかりやすい言葉で

✓ 短い文章

✓ 何が起きたか

✓ 意味

✓ 簡単な言葉



石破首相 辞任を表明 “決定的な分断を生みかねず苦渋の決断”

2025年9月7日 22時08分



4: Knowledge

簡単にわかりやすく伝える

「これから大切・重要なお話があります。」

- 深刻なお話を伝える前に“警告”を放つことでショックを和らげる

「大変申し上げにくいのですが、CT検査で、肺がんが大きくなっていることがわかりました。」（事実）

「抗がん剤が効いていないようです。」（意味）

4: Knowledge

簡単にわかりやすく伝える



Headlineを話した後は、
黙って相手の反応をみる。
（感情に備える）

5: Emotion

患者さんの感情に対応する

- 患者の最初の反応は、感情であると心積もりをしておく。感情をはっきりと認識する。
- 受け手の感情はニュースが届いた証拠！
- **感情のサイン**を見逃さない
 - 相手の表情、動作
 - 声のトーン
 - 同じ質問を何回も繰り返す



認知データと感情データ

• 認知データ (Cognitive Data)

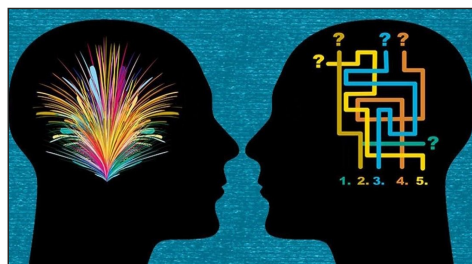
意識的な思考過程

→ 患者が理性的に理解した事柄

• 感情データ (Emotion Data)

無意識的な思考過程

→ 自然とわき起こる反応、
コントロールできず、理性よりも早く
生じる



どうして感情が大切なのか？

感情が生じたということは、先ほど話したことを理解した証拠

- 非言語的
- 言語的

日本人は、医師の前で感情をあまり示さないこともある。（“隠された感情に注意”）

Onishi E et al. J Pain Symptom Manage. 2020 Dec 5

どうして感情が大切なのか？

患者の感情の高まりを把握することで以下のことが理解できる

- どの程度の情報を話すべきか
- どの程度の理解が得られているのか
- どの程度の速さで話を進めていけばよいのか

患者が理解し、より適応できるように手助けすることが出来る（効率的！）



共感とは...

- 感情を認識するためのプロセス
→ 私があなたなら、どんな気持ちになるか想像してみる
- そして行動で見せること

感情データを理解し、対応することで、
共感の能力は磨かれる。



NURSE

Skills for responding
to emotion

NURSE 感情に対応するスキル

NAME 感情を言葉で示す

UNDERSTAND 理解を示す

RESPECT 敬意を示す

SUPPORT 支持を示す

EXPLORE さらに掘り下げて聞く

NAME

感情を言葉で示す

例:「こんな話を聞いて、驚かれましたよね」
「こんな事態になって、つらいですね。」

UNDERSTAND

理解を示す

例:「いきなりこのような話を聞かれて、
そのように感じられるのは当然だと思います」
「本当に辛いだろうと想像します。」

すべてを理解しているような言い方は避ける
(実際理解していないから)

RESPECT



敬意を示す

例:「大変な治療を頑張って続けてこられましたよね」

「お母様をすごく大切に思っている気持ちが伝わってきます。」

称賛することにもここに含まれます。



SUPPORT



支持を示す

例:「医師として出来る限りのことをします」

「これからも全力でサポートします」

このような言葉は、患者にとって大きな支えとなり得る。



EXPLORE



さらに掘り下げて聞く

例:「そのことに関して、もう少し詳しく

教えてもらえますか？」

本人の言った言葉に隠されている“本人の真意”を探る。



NURSE Skillを使う際のポイント

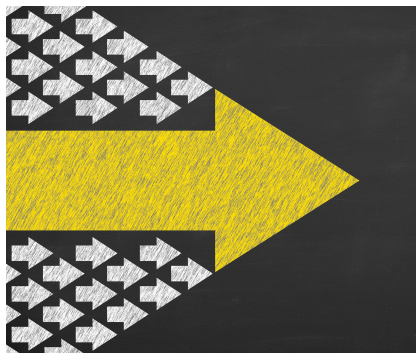
✓5つの異なったスキルを使うことで、患者は異なった反応を示す。

✓スキルはひとつずつ使って言葉をかけたら、黙ってしばらく患者の反応を見る。



次に話をすすめてよい状況

- 患者の感情の高ぶりが収まってきた時
- 患者に「これからどうするか話をしてもいいですか？」と聞いて、許可を得た時
- 患者や家族が、次はどうするか尋ねてきた時



PRACTICE 練習

ヘッドラインを作る練習

事実 + **意味**

何が起きた、起きているのか

そしてその意味することは

短く、わかりやすい言葉で

症例

49歳の男性、大腸がん転移の既往があり、CT検査で肝臓、肺の転移部の腫瘍がさらに大きくなっていることがわかった。腫瘍科医は患者の現在の衰弱した状態では外科的、放射線、化学療法などの治療を提供することはできないと言っている。あなたは主治医で患者さんと治療方針について話し合うことになっている。

P
R
A
C
T
I
C
E

Headlineの例

CT検査であなたのがんがさらに広がっていることがわかりました。もうこれ以上がんを抑える治療はありません。

P
R
A
C
T
I
C
E

NURSE SKILL 練習

医師：CT検査であなたのがんがさらに広がっていることがわかりました。もうこれ以上がんを抑える治療はありません。

患者：どうして自分がこんな目にあわなくてはいけないんでしょうか・・・？！

1. NURSEのスキルを使って、どのような言葉をかけますか？
2. そして、どのNURSE SKILLに当てはまりますか？

例:『本当におつらいですね。』(Name)
『そんな風に思われて当然だと思います。』(Understand)
『〇〇さんはすっごく一生懸命頑張ってきましたものね。』(Respect)

PRACTICE

NURSE 感情に対応するスキル

NAME 感情を言葉で示す

『急にこんな話を聞いて驚かれましたよね』

UNDERSTAND 理解を示す

『そのように感じられるのは当然だと思います』

RESPECT 敬意を示す

『大変な治療を頑張って続けてこられましたよね』

SUPPORT 支持を示す

『医師として出来る限りのことをします』

EXPLORE さらに掘り下げて聞く

『もう少し詳しく話してもらえますか？』



最後に

かんわと一くのトレーニングコースの概要

アメリカでバイタルトーク（VitalTalk）のトレーニングを受講し指導者資格を持つ医師がファシリテーターとなり、パワーポイントを用いた講義と、5～6名の受講生のスモールグループで模擬患者とのロールプレイを行い、即時にフィードバックをする形式で行います。



<https://kanwataalk.jp/training/>



時間がとれない人には



初回限定版
1000円

※2026年末までの アクセス



<https://kanwataalk.jp/remap/>



Q &A

ご清聴ありがとうございました

